

社団法人地盤工学会 平成 20 年度 第 4 回総務部会
議 事 録

日 時：平成 20 年 7 月 17 日 (木) 14:00~17:00	場 所：学会 3 階会議室	
出席者：後藤 聡 部長	西垣 誠 副会長	天野 玲子 理事
坪田 邦治 理事	風間 基樹 理事	桑野 玲子 部員 ×
田地 陽一 部員 ×	松島 亘志 部員	宮田 喜壽 部員
事務局：戸塚 弘	事務局：浅野 有三	

(議事録担当者：宮田 部員)

(: 出席、× : 欠席)

議 題：

【報告事項】

1. 経理関係報告：坪田理事 〔別添資料 - 1〕〔別紙 - 1〕p.1
 - * 6 月段階での総収支差（収入 10,712 万，支出 9,480 万，収支差 1,232 万）が報告された。
 - * 会誌部 + 会誌課に広告費増のためのより積極的な取り組みを，各支部長に特別勧誘のお願いをする旨の提案がなされ，了承された。
2. 広報関連報告：天野理事
 - * 追加資料として，会長のコメントを新会長のものに差し替えたパンフレットのコピーが配布された。
 - * 今年度のパンフレットの更新作業の内容が報告された。英文パンフレットの必要性が議論され，今年度の検討事項に加えることになった。まずは広報委員会で必要なコストなど検討することになった。
 - * 英文ホームページの会長のページを，新会長のものに更新する件について，部長より会長に原稿を打診することになった。原稿ができるまで，現行のページで写真と名前のみを変更することで対応することを確認した。
3. 災害関係：後藤部長
 - * 以下の 3 件の災害対応活動の報告がなされた。いずれも成功裏に終了したとのこと。
 - 1) 第 43 回地盤工学研究発表会特別セッション 〔別紙 - 2〕p.2
 「2008 年四川大地震ならびに岩手・宮城内陸地震被害調査（速報）報告会」開催報告
 開催日：平成 20 年 7 月 11 日（金）12:40-14:10，会場：広島国際会議場 第 1 会場
 参加者：約 450 名
 - 2) 岩手・宮城内陸地震速報会（4 学会合同） 〔別紙 - 3〕pp.3-5
 開催日：平成 20 年 6 月 20 日（金）9:20-11:30，会場：土木学会 講堂
 参加者：約 450 名
 - 3) 四川大地震復旧技術支援連絡会議報告会（7 学会合同） 〔別紙 - 4〕pp.6-9
 開催日：平成 20 年 7 月 15 日（火）14:00-17:00，会場：土木学会 AB 会議室
 参加者：100 名
4. 公益法人化推進委員会設置の件：後藤部長 〔別紙 - 5〕pp.10-12
 - * 学会の公益法人化にむけての会長基本方針と，対応組織（推進委員会の名簿），概ねの日程（2008 年 11 月に骨太の方針，2009 年秋には申請書提出）について報告がなされた。
5. その他：後藤部長
 - 1) 第 14 回地下水・土壌汚染とその防止対策に関する研究集会

* 表記の会議が平成 20 年 6 月 25 日（水）～26 日（木）に開催され、726 名の参加のもと成功裏に終えたことが報告された。

2) 千葉地方裁判所よりの鑑定人推薦依頼の件 [別紙 - 6] p.13

* 千葉地方裁判所から学会に司法支援（鑑定人候補者の推薦）の要望があったので、東京地裁にある鑑定人リストを参照して決定いただきたいと回答したことが報告された。

3) 韓国地盤工学会の研究発表会への訪問の件 [別紙 - 7] pp.14-15

* 韓国地盤工学会の一員が、わが国の研究発表会の運営状況の見学と運営方法について質問（韓国での開催運営の参考にする）を行うために広島での研究発表会を訪れたので、学会執行部で対応した件が報告された。

【審議事項】

1. 平成 20 年度表彰委員会構成案：後藤部長 [別紙 - 8] 当日配布

* 構成案が示され、分野別の委員構成数について確認がなされたのち了承された。

2. 平成 21 年度事業方針・計画案および予算作成方針の検討：後藤部長 [別紙 - 9] pp.16-20

* 昨年の例が示され、公益法人化に向けての取り組みをどのように配慮するか、および、活動領域を予算案に明記する必要性等について議論がなされた。公益法人担当理事である風間理事が対応すべき項目を整理して、坪田理事に連絡を行った後、今年度の文書を作成することになった。

3. 公益法人化推進委員会の平成 20 年度予算執行の件：後藤部長 [別紙 - 10] p.21

* 委員会の運営費について議論がなされ、予算執行を了承した。

4. 各支部での法人住民税に関する回答：後藤部長 [別紙 - 11] pp.22-66

* 1) 人的支援, 2) 物的設備, 3) 事業の継続性について支部の状況を調査したアンケート結果を現在税理士に報告し、今後の対応を協議中であることが報告された。今後の対応について審議はその回答が帰ってきた後行うものとし、部員各位はそれまでに各支部の状況をこの回答を元に確認しておくことになった。

5. 会誌部関係未収金の処理の件：後藤部長 [別紙 - 12] p.67

* 会誌部関係未収金について、「雑損金」扱いする件を了承した。個人名を伏せたかたちで、理事会にその旨を報告することになった。

6. 講習会司会者謝礼の件：後藤部長 [別紙 - 13] pp.68-70

* 技術普及委員会の内規に参照した結果、講習会司会者は委員の任務に相当するので謝礼は支払うことを認めることはできないこと、その支払いを行うためには内規の変更が必要であるという旨の回答を部長から事業部に行うことになった。

7. JABEE の法人化と定款改正案についての意見聴取：後藤部長 [別紙 - 14] pp.71-99

* 内容について問題ないということで、事務局から回答することになった。

* 内容が公益法人化推進委員会の参考になると思われるので、同委員会の資料とすることになった。

8. 日本建設機械化協会団体参与就任依頼：事務局 [別紙 - 15] pp.100-105

* 団体参与の業務内容が確認されたうえで了承された。継続する旨、会長名で回答することになった。

9. 理論応用力学講演会（第 58 回）の共催依頼及び運営委員の推薦：事務局 [別紙 - 16] pp.106-107

* 負担金 15000 円の支出の件も含め共催が了承された。負担金の件は来年度以降、予算化することを確認した。

* 運営委員については、部長が、昨年度、地盤工学会を代表して運営委員長を務めた村上章教授（岡山大学）に相談したうえで決定することになった。

10. その他：事務局

- 1) 共催、後援、協賛等の依頼 [別紙 - 17] pp.108-118
- * メール審議で了承済みの ~ , を含め、全ての案件について了承された。特に、 と は、締め切りも近いこともあり、ホームページでの対応を急いで行うことを確認した。
- 「場所打ちコンクリート杭の施工と管理に関する技術講習会」の協賛
主催：日本基礎建設協会 H20.7.11-12(東京)、H20.7.25-26(大阪)
- 「地球温暖化フォーラム2008」の後援 主催：日本第四紀学会 H20.7.12
- 「国際ワークショップ - 地盤材料の室内試験の最新動向 - 」の後援
主催：国際地盤工学会 TC29 H20.7.28-29
- 「TRD セミナー」の協賛 主催：TRD 工法協会 H20.11.14
- 「第46回粉体に関する討論会」の協賛 主催：第46回粉体に関する討論会事務局 H20.12.2-12.4
- 「2008 土壌・地下水環境展」の協賛 主催：土壌環境センター・日刊工業新聞社 H20.10.1-10.3
- 「平成21年度全国発明表彰」募集の会員への周知依頼 発明協会よりの依頼
- 「立正大学地球環境科学部環境システム学科」教員公募の会員への周知依頼
立正大学地球環境科学部長よりの依頼
- 「静岡大学防災総合センター」教員公募の会員への周知依頼 静岡理学部 里村幹夫氏よりの依頼
- 「eラーニング講習会」の後援 主催：日本建築学会 H20.7.22 から配信
- 2) 各部からの7/31理事会提出議題の確認 [別紙 - 18] pp.119-122
- * 内容を確認した。
- 3) 議事録の確認
- * 以下の2件の議事録を承認した。
- 6/19 総務部会 [別紙 - 19] pp.123-126
- 6/27 運営連絡会議 [別紙 - 20] pp.127-130
- 4) 次回の総務部会、理事会等の開催期日の確認
- * 以下の日程を確認した。
- 総務部役員会 9/8(月) 13:00~14:00 総務部会 9/8(月) 14:00~17:00
- 正副会長会議 7/31(木) 10:00~12:00 理事会 7/31(木) 14:00~17:00
- 公益法人化推進委員会 7/31(木) 12:00~13:30
- 5) 総務部からの7/31理事会提出議題の確認
- * 審議事項と報告事項については、部長と事務局で協議の上、決定する。

以上